



2020年6月

植物発酵液 SW の皮膚損傷抑制効果を示唆

八雲香産株式会社・早稲田大学との共同研究成果を学会で発表！

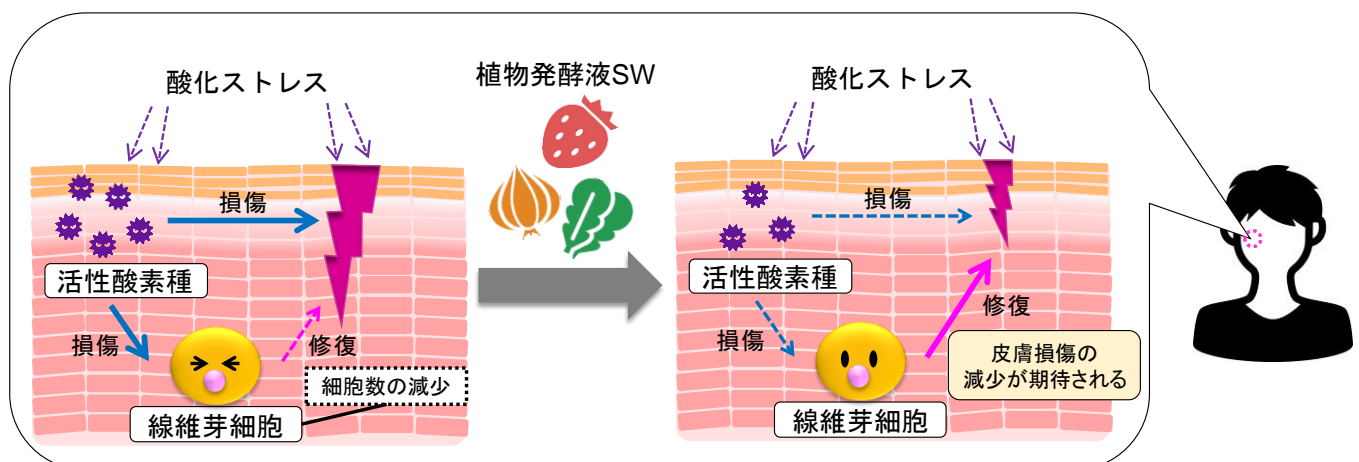


八雲香産株式会社、早稲田大学と株式会社オルトメディコの共同研究にて「植物発酵液 SW」の皮膚損傷抑制効果が示唆され、その研究成果を2019年5月17日～19日に開催された第73回日本栄養・食糧学会大会にて発表いたしました。

本研究は、早稲田大学が八雲香産(株)より試験品「植物発酵液 SW」の提供を受け実施され、産学間連携がスムーズに行われるよう、(株)オルトメディコが両者間の取り組みをサポートいたしました。

研究成果のポイント

- 植物発酵液 SW は皮膚の修復に関与する線維芽細胞において、酸化ストレスによる細胞数の減少を抑制することが確認されました。
- 植物発酵液 SW には、皮膚における活性酸素傷害の抑制が期待されます。





研究の背景・目的

本研究に使用した「植物発酵液 SW」は、抗酸化作用が期待される 100 種類以上の野菜・果物・海藻類を酵母と乳酸菌などにより発酵させた産物です。これまでに、「植物発酵液 SW」は抗酸化作用や美白作用を有することが確認されております。今回は美白効果に加えて皮膚損傷抑制効果を検証するため、「植物発酵液 SW」の酸化ストレスによる皮膚損傷への影響の解析を試みました。

結果の概要

植物発酵液 SW は、コラーゲンを産生し、皮膚の修復に関与する線維芽細胞において、酸化ストレスによる細胞数の減少を抑制することが確認されました。

学会発表情報

第 73 回日本栄養・食糧学会大会（於 静岡県立大学）

「植物発酵液 SW の美容効果に関する機能性の解析」

関根結夏子、及川哲志、松井彩、大野あぐり、山下慎一郎、本藤和彦、原太一

その他の研究成果

日本農芸化学会 2019 年度大会（於 東京農業大学 世田谷キャンパス）

「植物発酵液 SW の美白効果に関する機能性の解析」

田中瑞穂、本藤和彦、及川哲志、松井彩、大野あぐり、山下慎一郎、原太一

第 32 回 日本動物細胞工学会 2019 年度大会（於 かがしま県民交流センター）

「動物細胞を用いた植物発酵液 SW の美白効果の検討」

関根結夏子、及川哲志、大畑佳久、松井彩、大野あぐり、山下慎一郎、本藤和彦、原太一